

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年																	2020年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	8 (9)	12
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	8 (9)	7
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	3 (4)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5	3

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第3週(1月13日~1月19日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8					6		2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1					1		
五類全数	10	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		梅毒	3					3		
		百日咳	4		1			2	1	

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

令和2年第3週(1月13日～1月19日)

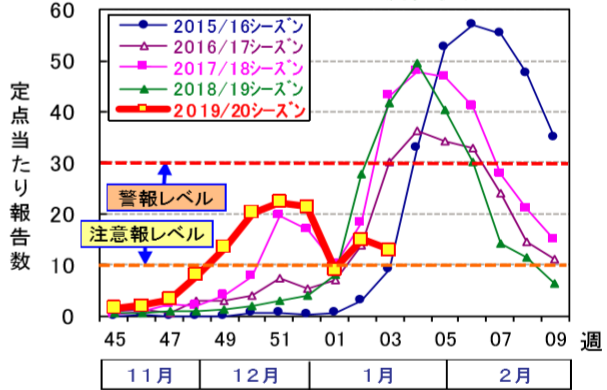
1. インフルエンザ

定点当たり12.9人と、前週と比べてやや減少しましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は14件報告されています。今後、再び増加する可能性があるため、注意が必要です。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり6.67人の報告がありました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生も1件報告されています。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理などの感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	478	12.92	32.98	◇	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.37	
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.24		小児科	RSウイルス感染症	8	0.33	0.45	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	1.21	2.31	◇	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	感染性胃腸炎	160	6.67	7.08	◇	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.68	
	水痘	-	-	0.38		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	4	0.17	0.21		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	16	0.67	0.35	◇	基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	
	突発性発しん	3	0.13	0.28		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.01		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↓ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ◁ ▷ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	6	女性(20歳代)・1人、男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・2人、男性(90歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	2	男性(80歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	男性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	1	男性(50歳代)・エイズ
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	男性(50歳代)
5	梅毒	3	6	女性(20歳代)・2人、男性(30歳代)・1人
5	百日咳	2	4	女性(10歳未満)、女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	10 男	2019/12/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 嘔吐 頭痛	14 男	2019/12/11	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.7) 鼻炎	4 女	2019/12/13	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.0) 肺炎 細気管支炎 意識障害	3 男	2019/12/15	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.5) 咽頭炎 気管支炎	50 男	2019/12/15	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	8 男	2019/12/15	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	9 女	2019/12/16	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 嘔吐 下痢	3 不詳	2019/11/17	糞便	ノロウイルスG II
感染性胃腸炎	発熱(37.6) 嘔吐 下痢	5 女	2019/11/29	糞便	ノロウイルスG II
水痘	丘疹 水疱	8 男	2019/12/11	水疱内容液	水痘帯状疱疹ウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.3) 上気道炎	0 男	2019/10/25	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.3) 細気管支炎	3 男	2019/12/04	鼻汁	ライノウイルス アデノウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 細気管支炎	2 男	2019/12/09	鼻汁	ライノウイルス アデノウイルス5型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 上気道炎	3 男	2019/12/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎	4 男	2019/12/10	鼻汁	アデノウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載